

映画で考える 多様性と共生 / 第3回

『ズートピア』授業ガイド

偏見とステレオタイプ——「『〇〇だから』で、決めつけない。」

教員用・指導資料（対象：小学生以上）

本資料はAI（Claude / Anthropic）で作成しています。授業でのご利用前に事実関係をご確認ください。専門家の監修ではありません。授業での使用可否・場面の選択・学年の適否は、担当の先生が最終判断してください。

1 授業の概要

テーマ	偏見とステレオタイプ（決めつけ→偏見→差別のつながりと、自分の中の思い込み）
教材映画	『ズートピア』（原題 Zootopia／2016年・アメリカ（ディズニー）／監督：バイロン・ハワード、リッチ・ムーア）
対象	小学生以上。映倫G。追いかけてっこや動物が襲いかかる場面で、小さな子どもが怖がる可能性がある
時間	標準90分（45分×2）。上映109分。全編視聴も可能な長さ
中心概念	ステレオタイプ・偏見・差別の区別／偏見はだれの中にもある／恐怖をあおる情報と分断
ねらい	「〇〇だから△△」という決めつけのしくみを理解し、自分の中の思い込みに気づく姿勢を持つ
準備物	児童・生徒用ワークシート（別PDF）／筆記用具

2 内容への配慮（必ずお読みください）

⚠ 偏見を扱う際の注意

動物の物語を通して偏見を考えられる作品ですが、扱い方によっては**現実の偏見を強めてしまう**おそれがあります。

- 「肉食動物／草食動物」を、現実の**特定の人種や民族に単純に重ねて説明しない**。
- 偏見のしくみそのもの（決めつけ→偏見→差別）に焦点を当てる。
- 「決めつけられた経験」を書く活動は、**書ける範囲で**とし、発表は強制しない。
- 低学年に近い学年では、怖がる場面の前に予告するなど配慮する。

📄 レイティング・著作権について

- 日本の映倫はG。ただし配信版・ソフトにより表示が異なる場合があるため、使用予定の版をご確認ください。
- 授業での上映には教育機関向けの権利処理が必要になる場合があります。本教材の文章はすべてオリジナルで、ポスター・場面写真は使用していません。

3 ステレオタイプ・偏見・差別（予備知識）

3つの言葉のちがい

ステレオタイプは「ウサギは弱い」「キツネはずるい」のような、グループについての決まりきったイメージ。偏見は、そのイメージをもとに、よく知らない相手を悪く思ったり見下したりすること。差別は、偏見をもとにチャンスをうばったり不公平にあつかったりすることです。

だれの中にもある

主人公のジュディは「ウサギに警察官はムリ」と決めつけられる側でしたが、じつは**自分もキツネに対する思い込み**を持っていました。偏見は「悪い人」だけが持つものではない、という点がこの作品の大きなポイントです。

💡 恐怖が偏見を大きくする

物語の後半、「肉食動物はおそろしい」という空気が街に広がります。一部の出来事が大きく伝えられ、ジュディの記者会見での不用意な言葉が偏見をさらに強めてしまいます。特集「情報を見極める」とつなげて、**こわさをあおる情報の影響**を扱えます。

決めつけに気づく4つの問い（板書用）（板書用）

① それは「みんな」？

一部の例を、グループ全体に当てはめていないか。

② 自分の中にもある？

自分も同じような思い込みを持っていないか。

③ こわさが混ざっていない？

不安やこわさが、決めつけを大きくしていないか。

④ 目の前の相手を見ている？

グループではなく、その人自身を見ているか。

🎯 この授業の到達目標

ステレオタイプ・偏見・差別のちがいを説明でき、映画の場面を根拠に、自分の中の思い込みに気づくための問いを挙げられる。

4 90分授業の流れ（45分×2）

時間	ながれ	先生の動き・発問
0-8分	導入	「〇〇な人は△△」という言い方を集めてみる（軽い例で）。
8-15分	作品紹介	ステレオタイプ・偏見・差別の3つの言葉を説明。
15-45分	映画を観る①	ジュディが警察官になる場面、ニックの子ども時代の話（クリップ）。
45-65分	映画を観る②	記者会見の場面と、ジュディがニックにあやまる場面（クリップ）。
65-82分	ワーク記入	「決めつけに気づく4つの問い」を使って考える。
82-90分	共有・まとめ	板書「『〇〇だから』で、決めつけない。」で締める。

🌱 まとめ

偏見は、だれの心にも入りこむことがあります。大切なのは、偏見を持たない完ぺきな人になることではなく、ジュディのように自分の思い込みに気づき、あやまり、目の前の相手を見ようとすることです。

5 映画の背景知識

原題／邦題	Zootopia／ズートピア
製作年・国	2016年・アメリカ（ディズニー）。上映109分。日本公開：2016年4月。映倫：G
監督	バイロン・ハワード、リッチ・ムーア（共同監督・脚本：ジャレド・ブッシュ）
受賞	第89回アカデミー賞 長編アニメーション賞、ゴールデングローブ賞 アニメーション映画賞
続編	『ズートピア2』が2025年12月に日本で公開

主なキャストと役柄

- ジュディ・ホップス（声：ジニファー・グッドウィン／日本語版：上戸彩）：ウサギ初の警察官。
- ニック・ワイルド（声：ジェイソン・ベイトマン／日本語版：森川智之）：子どものころ、キツネだという理由で傷つけられた過去を持つ詐欺師。

体の大きさに合わせた街

ネズミの町からキリンが通れる道まで、体の大きさのちがいに合わせてデザインされた街も見どころです。「ちがいに合わせた街づくり」は、バリアフリーやユニバーサルデザインの話題にもつながられます。

※上記の事実は公開情報（映画.com、ディズニー公式サイト等）をもとにしています。細部・脚色には諸説あるため、授業前に必要に応じてご確認ください。

6 発問例・見取りのポイント

Q. ジュディがまわりから決めつけられたことは何だった？

→ 「ウサギは弱い」など、ステレオタイプの具体例を挙げさせる。

Q. ジュディ自身が持っていた思い込みは何だった？

→ 偏見は「決めつけられる側」にもありうる。ジュディがあやまる場面に注目させる。

Q. 「肉食動物は危ない」という空気は、どうやって広がった？

→ 一部の出来事の強調、記者会見の言葉、不安の広がり。情報の受け取り方につなげる。

ワークシートの見取り（評価の観点）

- ステレオタイプ・偏見・差別のちがいを、具体例を挙げて説明できているか。
- 自分の中の思い込みにも目を向けられているか。
- 現実の特定の集団への偏見を強める表現になっていないか。
- 意見の発表は強制せず、書いた内容を尊重する。特定の子どもに注目が集まらないよう配慮する。

7 シリーズ全体像

回	映画	テーマ	目安
1	ワンダー 君は太陽	見た目のちがいと友だち	小学校高学年～
2	映画 聲の形	いじめと、向き合うこと	中学生～
3	ズートピア	偏見とステレオタイプ	小学生～
4	ドリーム	人種と性別の壁を越える	小学校高学年～
5	最強のふたり	障害と介助、対等な関係	中学生～
6	グリーンブック	差別と旅、友情	中学生～
7	リトル・ダンサー	「らしさ」の思い込み	小学校高学年～
8	パディントン	よそ者を受け入れる社会	小学生～

8 参考資料（主な出典）

ズートピア 作品情報（映画.com） <https://eiga.com/>

ディズニー公式「ズートピア」 <https://www.disney.co.jp/movie/zootopia>

作品：映画『ズートピア』（2016年、監督バイロン・ハワード、リッチ・ムーア）

© 2026 FilmEdu AI / 本資料はAIを活用して作成しています。授業でのご利用前に事実関係をご確認ください。専門家による監修ではありません。授業での使用可否・場面選択・学年の適否は担当教員の判断によります。作品の著作権は各権利者に帰属します。授業での上映には適切な権利処理（教育機関向けライセンス等）が必要になる場合があります。内容の誤りにお気づきの際はお問い合わせよりご連絡ください。